

ガイドツアーの日

text by Shinji Ishii
文いしいしんじ

夏休みにまる一日、大阪で時間があいた。小二のひとひが「かんくう、いきたいねんけど」といった。京都には、でかい駅もバスの車庫も高瀬舟もあるけど、空港はない。

調べてみるとちょうど翌日、「わくわく関空見学プラン」なる一時間のガイドツアーが増便されて開催中だ。ならば「ミスター・インクレディブル」のDVDを買いにいっついでに、鉄人28号顔の、南海電車ラビートの指定席を二席予約した。

当日は微風の快晴。ラビートは大阪湾岸を滑るように南下していく。「おとーさん、ほら、かんくうのはし！」7歳でも50過ぎのおっさんでも、乗り物が橋に突っこんでいく瞬間、男の心臓はふだんより五割増しで鼓動を打つ。

空港につき「展望ホール」へ移動。受付で少し並んでいるあいだ、案内の女性がひとひ

い。シャワー室です」

給油タンクを過ぎ、国際貨物地区へ。

「貨物機って、旅客機と大きくちがう特徴があるんです。なんだかわかるかな」「まどがない！」とひとひ。「そう、正解！」

保安エリアを一周し、ゲートにはいるための地下通路へおりていく瞬間、Nさんは運転手さんにすばやくなにかいった。バスはスピードをゆるめ徐行しはじめた。と、全員が息をのんだ。頭上の橋の上を、真っ白く巨大な流線型の機体が、右手から左手へ、視界いっぱい横切っていく。

「やりました、みなさんラッキーですね！」とNさんは本心から喜んでた。「第二ターミナルから第一へ移動する飛行機の真下を、こうしてバスで通れるときがたまにあるんです。運転手さんのテクニク、すばらしいですね。どうか拍手をお送りください！ちなみにいま見えたのはボーイング787です」

手を叩きながらぼくは、そうか、と納得した。さつきからひそひそ相談していたのは、Nさんが、車窓から確認できる空港の状況から、

と遊んでくれる。ツアー申し込みをすませ、展望ホール内ではばらく過ごす。フライトシミュレーターや管制塔ゲーム、スカイミュージアム、各航空会社のグッズを扱う売店に、コンコルドをイメージしたレストランなどあり、飛行機好きなら一週間ここですごせる。

時間通り集合場所へ。ツアーガイドのNさんが参加者の点呼をとっている。バスに乗りこむと、ひとひと僕の席は運転席の真後ろ。目の前にガイドのNさんが立つ。ツアーバスは補助席まで満員の盛況だ。

「みなさん、こんにちは！」とNさん。「きょうは皆様を、ふだんは立ち入ることのできない特別な場所にご案内します。窓の外に注目していただきたいね！」

第一ターミナル、空港警察、管制塔。Nさんはよどみなく、正確にはなす。きいている

どこをどのタイミングで走って行けば、ツアーの参加者になが見せられるか、頭のなかでシミュレーションし、それを運転手さんに指示していたのだ。まるでフットボールの10番。マグロ漁の漁労長。

Nさんのようなひとにガイドしてもらったことこそ、ぼくたちのラッキーだ。ただ、このツアーのガイドならみんな、Nさんと同じ熱意とスキルをもって、仕事に臨むんだろう。空港で働いているひと全員がきっとそうだ。利用者の安全をいちばんに、快適を優先に、正確さ、勤勉さをモットーに。

ひとひに「関空きてよかったな」といった

側の反応もたしかめ、窓の外にも目を配り、ここぞ、というタイミングで話題をふる。

「左に塔がみえますね。あの上の丸いもの、なんだかわかりますか」「レーダー」「いま滑走路に進んでいく飛行機は」「チャイナエア」と、Nさんの出すクイズに、必ずまっ先に、ひとひがこたえてしまう。

パトロールだろうか、海上保安庁のヘリコプターが離陸してゆく。Nさんが運転席にしゃがみ込みなにかひそひそ話している。

バスは第二ターミナルをまわり、ふたたび第一ターミナルへ。そしてセキュリティ用のゲートをくぐり、いよいよ一般の利用者は入れない保安エリアへ。「あちらが、機内食の工場です。全37社の食事をすべて作っています」「あちらのファミリーマート、ほかにない施設がついています。看板をよく見てみてください」

「おとーさん、このバスのせてくれてありがとう」とこたえた。ツアーの終了が残念でしかたない様子だった。「おとーさん、次もぜひこのツアーさんかしよな！」

Nさん、運転手さん、受付のおばさん。保安地区、ターミナル、あらゆる職場での暮らしたが、台風21号で停まってしまった。橋は折れ、滑走路は水に浸かってしまった。

けれど、いつかなおる。空港で働くひとたちは、場所が壊れたくらいでは、けしてへこたれない。また集まってくる利用者のため、Nさんたちは今日もきつと、大空と大地のあいだで熱い汗をかいている。



関西国際空港
(Kansai International Airport)
(大阪府泉佐野市)

運営者：関西エアポート株式会社
運用時間：24時間
開港：1994年9月4日
敷地面積：1,067.7 ha
標高：5.30m
ターミナル数：2

Profile

1966年大阪生まれ。京都在住。著書に小説「ぶらんこ乗り」「麦ふみクーツエ」「ポーの話」「みずうみ」「四とそれ以上の国」など、エッセイ「人生を救え!」(町田康共著)「熊にみえて熊じゃなし!」「選い足の話」、絵本に「赤ずきん」(ほしよりこ絵)など多数。

